

荻窪駅周辺 都市総合交通戦略 意見募集の結果

○意見募集期間 平成30年12月1日（土）～12月19日（水）

○意見提出件数 35件（延べ90項目）

○ご意見の概要と区の考え方

| No. | 項目 | ご意見の概要 | 区の考え方 |
|-----|----|---|---|
| 1 | 全般 | 荻窪の発展を願っており、ぜひ計画を進めて欲しい。 | 交通戦略の実現に向け、交通事業者、警察、地元企業、町会・自治会、商店会等の地域団体や地域住民の方々などのご理解とご協力をいただきながら、ともに連携して、住んでよし、訪れてよしの「にぎわいと住環境が調和したまち」を目指してまいります。 |
| 2 | | 戦略（案）が絵に描いた餅にならない様、どう実行するかがポイントである。1丁目1番地の南北移動がボヤケているので計画全体がボヤケている。 | 今回の案では、南北移動について、短期的な取組として、杉並区荻窪駅周辺総合交通戦略連絡協議会分科会を設置し、区と鉄道事業者等の関係者との連携のもと、基礎調査や関係権利者の意向把握等を行い、事業手法等の検討を進めることとしました。今後、この分科会における意見交換の結果等を踏まえ、適切な時期に本交通戦略を改定してまいります。 |
| 3 | | 現状、南北移動の実現性が乏しいのだから、北と南に対策等を分けて記載すべきである。 | 本交通戦略では、南北地域間の分断解消の実現に向け取り組んでいくため、荻窪駅周辺を北と南に分けずに捉えておりますが、必要に応じて、駅北側と南側のまちの状況を踏まえつつ、それぞれの特性を生かした展開を考えてまいります。具体的な取組内容について、今後、町会・自治会、商店会や地域の方々等と共に検討していきたいと考えています。 |
| 4 | | 少子高齢化時代への取組を具体的に検討すべきと思う。 | ご指摘のとおり、少子高齢化に的確に対応することは、交通戦略の重要な役割の一つです。「今日もいつもの商店街プログラム」では、買い物の途中でひと休みできるような椅子の設置や、歩きやすい歩行環境づくりなどを進めるとともに、更なる具体的な取組について、町会・自治会、商店会等の地域団体や地域住民の方々などのご意見を伺いながら検討してまいります。「新技術活用プログラム」においても、高齢者等の移動支援や効率的な物流の確保の観点から、自動運転技術等、様々な新しい技術の活用の可能性について調査・検討を進めます。 |

| No. | 項目 | ご意見の概要 | 区の考え方 |
|-----|----|--|---|
| 5 | | 世界中から見学者が来るくらい、まち全体に、ユニバーサルデザインを取り入れてほしい。 | 地域住民の皆さんや、来街者の方々が、「ゆっくり歩いてまちを楽しむ」ことができるよう、ユニバーサルデザインの考え方に基づいたまちづくりに取り組んでまいります。 |
| 6 | | 今後5年間で、施策に応じた分科会が設置されるようだが、過去の「荻窪まちづくり会議」の分科会はどんな意味があったのか。まちづくりの実施段階として、交通戦略（案）に期待していただけに残念である。 | 「荻窪まちづくり会議」の分科会では、荻窪駅周辺の町会・自治会、商店会などの有志の方により、テーマに応じた議論をしていただき、地域発意のまちの将来像として「荻窪駅周辺地区まちづくり構想」（平成27年11月）として取りまとめていただきました。 区は、この構想を踏まえ、区としてのまちづくり方針、「荻窪駅周辺まちづくり方針」（平成29年4月）を策定しました。その次のステップとして、本交通戦略の策定を進めています。今後は、交通事業者、警察、荻窪のまちで活動されている企業、町会・自治会、商店会等の地域団体や地域住民の方々など、多様な主体と協力・連携し、施策を着実に推進させてまいります。 |
| 7 | | まちづくりが停滞していると思われる状況を改善するため、区民のまちづくりに対する参加意識を高める観点から、隔週毎など定期的・継続的に、まちづくりの概要の説明資料を駅前広場などに展示して進捗状況を報告し、区民へのフィードバックを行うこと、区民アンケート等で区民の考えを把握し、それを区役所、議会、更に区民へフィードバックする、杉並区の政官民が一体となったまちづくりへの取組を提案する。 | ご提案いただいた、定期的・継続的な情報提供やご意見の把握は、区民の皆さんの参加意識を高める観点からも、重要な取組であると考えており、今後研究してまいります。 |
| 8 | | 住宅地域とのバランスにおいて、商業施設は、エリアの拡大ではなく、質を問われ活性化が求められている中で、今回の交通戦略はまち全体を育てるものであって欲しい。 | 本交通戦略は、「まちづくり方針」におけるまちの将来像を実現するための取組の一つであると考えています。今後も、分科会での成果や、町会・自治会、商店会等の地域団体、地域住民の方々などとの意見交換の結果、そして連絡協議会による施策の評価・検証の結果を踏まえ、適切な時期に本交通戦略を改定し、多様な主体のご意見を反映した交通戦略としてまいります。 |
| 9 | | 「これからの荻窪駅周辺まちづくりを考えるアイデアコンペ」で提案された作品は、交通戦略にどのように反映されるのか。 (他、同趣旨1件) | アイデアコンペにおける様々なご提案の主旨については、今後、分科会における駅周辺の基盤整備等に係る意見交換において、参考にしてまいります。 |

| No. | 項目 | ご意見の概要 | 区の考え方 |
|-----|---------------------|--|---|
| 10 | | 課題に対しての具体的な改善策が全く挙げられていない。ぜひともこの交通戦略をより良いものに作り直し、早い段階（せめて短期プラン）のうちに公開・実践して欲しい。 | 本交通戦略は、分科会での成果や、町会・自治会、商店会等の地域団体、地域住民の方々などとのよりきめ細かい意見交換の結果、そして連絡協議会による施策の評価・検証の結果を反映させ、適切な時期に改定してまいります。 |
| 11 | 「らくらく南北往来プログラム」に関して | まちの活性化のためにも、駅南口と北口の行き来をもっと簡単にできるようにして欲しい。 (他、同趣旨1件) | 「らくらく南北往来プログラム」は、中長期的な取組として「駅南口と北口の行き来の改善」について取り組むものです。区としても、南北地域間の分断解消と回遊性の向上は、まちの活性化に資する大切な課題と考えており、駅前大規模商業施設の機能更新期や周辺街区での共同建替え等の機会をとらえ、駅周辺の基盤整備にあわせた既存南北連絡動線の抜本的改善や、新たな動線整備に向けた取組を検討します。 なお、上記の取組は、利便性・にぎわい・回遊性に関わるプログラムである「今日もいつもの商店街プログラム」にも位置付けています。 |
| 12 | | 地元の南北問題は大変重要なテーマである。一日も早く地元・区・JR等で話し合える場を設けて欲しい。 | 駅と一体となった南北連絡動線の改善等については、より重点的かつ専門的な意見交換を行う「分科会」を設置する予定です。施策の内容に応じて、地元組織や事業者の方々などのご協力を得ながら意見交換を行ってまいります。 |
| 13 | | 南北移動の内、区民が一番期待している駅東口通路のEV、エスカレーターの増設等についての可能性も含め、もっと書き込むべきである。 | 南北連絡動線の改善等は、中長期的な取組に位置付けていますが、区と鉄道事業者等の関係者が連携を図りながら検討してまいります。 |
| 14 | | 駅構内に下りエスカレーターがないことは不便極まりない。朝夕の駅利用者は、ほとんどが出勤等の健常者だが、昼間や夕方は移動制約者や高齢の買い物客などがいることを考慮して欲しい。特に、これらの交通弱者が、北口、南口で、朝の出勤時に、階段を下りてくる人波と交錯するのは大変である。 | |
| 15 | | 人の多さに比べて、改札への階段も、駅のコンコースも、改札内の空間も狭すぎる。天井が低いことで余計に圧迫感もある。杉並区の他のJR駅は、改装・再開発されているのに、荻窪駅だけが手つかずの状態である。早々に手を付けて欲しい。 | |

| No. | 項目 | ご意見の概要 | 区の考え方 |
|-----|----|---|--|
| 16 | | 南北連絡動線の改善については、立川駅や仙台駅の事例を参考に、線路を跨ぐ形で駅ビルを建てるなどの整備をして欲しい。 | (仮称) 荻窪駅周辺都市総合交通戦略(案)の作成にあたっては、立川市をはじめ、先行して交通戦略を策定している他自治体と意見交換等を行い、参考としました。南北連絡動線の改善にあっても、他自治体での先行事例も参考に、荻窪のまちにあった整備を検討してまいります。 |
| 17 | | 青梅街道の北まで含めた立体的なまちづくりが望まれる。 | 荻窪の南北地域間の分断は、鉄道だけでなく幹線道路も、その要因になっています。駅周辺の開発にあわせた基盤整備にあたっては、青梅街道の北側まで含めた立体的なまちづくりの可能性について、区、東京都、鉄道事業者等の関係者が連携を図り、調査等を進めてまいります。 |
| 18 | | 青梅街道を含めた南北分断解消に関して、東京都と協定を締結するなどして早期解決をお願いしたい。 住民からの要望の声が、JRや都に届かないのであれば、住民側も何か支援をしたい。 | |
| 19 | | らくらく南北往来プログラムに賛成である。 | 「らくらく南北往来プログラム」は中長期的な取組に位置付けていますが、区と鉄道事業者等の関係者が連携を図りながら着実に進めてまいります。 |
| 20 | | 荻窪駅が高架化されていないデメリットを早期解消する観点から、荻窪地下道のバリアフリー化を迅速に実施して欲しい。 (他、同趣旨4件) | 荻窪地下道については、勾配を緩やかにしたり、エレベーター等の設置を直ちに行う予定はございませんが、既存施設の安全性の向上・長寿命化・通行環境の改善を主な目的として、来年度以降に工事をする予定です。バリアフリー化につきましては、 |
| 21 | | 荻窪地下道は、女性が夜間歩けない現状である。 | 荻窪地下道に昇降装置がない現状を踏まえ、検討を進めてまいります。 |
| 22 | | 荻窪地下道の「移動円滑化と環境改善」は、まず地下道の漏水を完全に止める補修工事をして欲しい。 | その他の南北連絡動線も含め、その改善に向け、歩道橋化のご意見も参考に検討を進めてまいります。 |
| 23 | | 現状の荻窪地下道は快適とはいえずらい空間になっている。もし高架化がまだまだ先になるということであれば、明るく開放感のある南北連絡動線とするために、荻窪地下道を歩道橋化して欲しい。 | |
| 24 | | 荻窪地下道を自転車に乗ったまま通る人がいるため、歩かないと進めない仕組みを付けて欲しい。 | 荻窪地下道は、歩行者と自転車利用者だけでなく、ベビーカーや買い物カートを使う方、視覚に障害がある方なども利用されており、ご指摘の自転車から降車して歩かないと進めない物理的な仕組みを設置することは難しいと考えますが、掲示物等で自 |

| No. | 項目 | ご意見の概要 | 区の考え方 |
|-----|----|--|---|
| | | | <p>転車利用者に降車利用を促すとともに、自転車走行の規制について研究していきます。</p> |
| 25 | | <p>荻窪地下道については、20 数年前の再開発計画の内容にならって、スロープ改善に必要な用地確保をするなど、再開発とあわせたバリアフリー化の具体案の検討をお願いしたい。</p> <p>(他、同趣旨 2 件)</p> | <p>ご指摘の街区については、荻窪地下道のバリアフリー化を含めた南北連絡動線の充実、駅前広場機能及び拠点駅周辺としての防災機能などの充実も視野に、関係権利者の意向や動向を把握しつつ、共同建替え等の誘導を図ります。関係権利者の意向や動向に応じて、公共的な貢献を伴う共同建替え等に向けた意見交換を進めてまいります。</p> |
| 26 | | <p>北口駅前広場東側に隣接する街区は、木造建築物の密集度が高く、防災性を向上させる必要がある。当該地区のインテグラルタワー側の再開発について、区の支援をお願いしたい。</p> | |
| 27 | | <p>北口駅前広場東側に隣接する街区の再開発により、南北分断解消と回遊性の向上を期待する。</p> | |
| 28 | | <p>「駅周辺の再開発に合わせた」との表現が各所にあるが、具体的に地権者に相談しているのか。区として積極的に動いて、北口駅前広場東側に隣接する街区全体の開発促進をして欲しい。</p> | <p>まちづくりの推進を図っていくためには、地域と区との間で、まちづくりの課題と方向性が共有されていることが重要であると考えており、ご指摘の街区については、関係権利者の方々等との意見交換を行っています。</p> <p>今後も関係権利者の意向や動向を把握しつつ、南北連絡動線、駅前広場機能及び拠点駅周辺としての防災機能などの充実も視野に、共同建替え等の誘導を図ります。</p> |
| 29 | | <p>環八通り地下通路の改善は最優先されるべきであり、用地確保のチャンスはある。その時のために対処できるようにしておく必要がある。</p> | <p>いただいたご意見については、区から、環八通り地下通路を管理する東京都第三建設事務所に申し送りいたします。</p> |
| 30 | | <p>「環八通り地下通路における環境改善の実施」とは、北側階段のスロープ改善を指しているのか。環八通り地下通路は東京都第三建設事務所が整備担当であり、最も危険な階段である。第三建設事務所の道路用地や事務所用地を活用して、速やかに抜本的改善を実行して欲しい。</p> | <p>「環八通り地下通路における環境改善の実施」とは、通路内の照明を LED 照明へ切替える改善などを実施するものです。いただいたご意見については、区から、環八通り地下通路を管理する東京都第三建設事務所に申し送りいたします。</p> |

| No. | 項目 | ご意見の概要 | 区の考え方 |
|-----|----|--|---|
| 31 | | 荻窪駅を高架にできないことが一番のネックであると感じている。高架にできれば、複数の課題が一気に収束すると思われるため、オリンピック後は都に掛け合い、ガツガツ行動すべきである。 | 中央線の高架化については、南北分断の解消を図る対応策の1つと考えられますが、「まちづくり方針」にも記載のとおり、環状八号線や青梅街道が既に立体交差しており、連続立体交差事業の採択要件を満たしていないことから、長期的な視点から慎重に検討すべき事項と認識しています。 |
| 32 | | 高架にするまでの代替策として、駅周辺は地下道ではなく、ペDESTリアンデッキを整備する。 | |
| 33 | | <ul style="list-style-type: none"> ・JR施設(みどりの窓口等)を東側へセットバックし、通路を広げる。 ・東京メトロの西口改札口からJRの北側へ新たに通路を新設し、人の流れを西口に誘導する。それと合わせJRの西口改札口を作る。 ・過去にあった南側の西口バス降車場を復活し、鉄道利用者の流れを西口において吸収する。 | 南北連絡動線の改善等は、中長期的な取組に位置付けていますが、その具体的な方策について、いただいたご意見も参考にしながら、区と鉄道事業者等の関係者が連携を図り、調査等を進めてまいります。 |
| 34 | | <p>荻窪駅の状態などから、JR中央線の高架化は望めないため、まちづくり「100年の計」として、人工地盤を有効活用する構想として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅への自家用車を含めた車両のアクセス性向上のため、線路に平行な新たな道を確保する。 ・駅を越えたシャトルバス、お買い物共同宅配便などを運営する。 ・JR中央線上を有効活用し、駅機能、商業機能、子育て機能、集会機能、自動車・自転車駐車機能、などを分担し、環境性能の高い駅ビルを整備する。 ・荻窪地下道を更に充実させ、人と自転車、更には小型車両の通行にも対応したものとする。将来的に北口駅前広場東側に隣接する街区の再開発ビルと接続し、ワゴン車程度の通行にも対応できるようにする。 ・駅北側タウンセブン東側を一体整備する。 ・北口駅前広場東側に隣接する街区の開発にあたっては、再開発ビルに区役所機能を導入したり、杉並アニメーションミュージアムの規模を今より大きくテーマパーク化して、このビルの集客を図るなども考えられる。 ・駅ビルを活用した南北連絡動線の駅南側の部分も新たなビル整備を行う。地下自転車駐車場の整備や、荻窪地下道、線路に平行な新たな道との接続を行い、来街者も | |

| No. | 項目 | ご意見の概要 | 区の考え方 |
|-----|--------------------|--|--|
| | | <p>含めた駅南側エリアの利便性を向上させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前大規模商業施設の建替計画は、西口を重視したデッキ構想を伴うものと考えられ、荻窪のまちの新しい核となることが求められる。 | |
| 35 | | <p>駆動補助機付自転車(電動アシスト自転車)利用者でも、自転車から降りなくても北口と南口を行き来できる道があると良い。</p> | |
| 36 | | <p>荻窪地下道を荻窪駅に接続し、商店の入った地下街とする。</p> | |
| 37 | | <p>南北間の交流促進は、高架化によらず、地下通路や駅前広場の拡張、大型エレベーターの整備などでも可能である。ヘリコプターなどが緊急発着できるような、駅全体を覆う甲板デッキの整備など、独創的で明るく楽しいまちづくりを求める。</p> | |
| 38 | | <p>【概要版】の「基本方針」や「戦略目標と施策パッケージ」を見る限り、南北分断の解消に関するハードイメージが見えず、スケジュールも短期、中期、長期だけではよく理解できない。</p> | <p>スケジュールについては、今回の案では大まかな実施時期を示すものとなっています。</p> <p>現時点では、南北連絡動線の改善等に関する具体的なハード整備のイメージが未定のため、本交通戦略(案)に記載しておりません。南北連絡動線の改善等は、中長期的な取組に位置付けていますが、その具体的な方策について、今後設置する「分科会」において、区と鉄道事業者等の関係者が連携を図り、より重点的かつ専門的な意見交換を行いながら事業手法等を検討し、施策を着実に進めてまいります。</p> |
| 39 | | <p>都市総合交通戦略として、2年間の検討の結果として、南北往来プログラムの南北動線強化を、来年度から“調査・検討・協議”を始めるというのは、進捗度として大変ゆっくりしている。</p> | |
| 40 | 「すいすい乗換えプログラム」に関して | <p>スムーズな動線確保と、駅前広場をより利用しやすくする観点から、北口の出口の方向を東側に向けて欲しい。</p> | <p>北口については、バス・タクシーなどのターミナル機能、駅との連絡機能等の充実や、まちの玄関口としての駅前広場の交流機能の向上などが重要であると考えています。実現に向け、いただいたご意見も参考にしながら、区と鉄道事業者等の関係者が連携を図り、調査等を進めてまいります。</p> |
| 41 | | <p>朝ピーク時の北口駅前広場のバスの降車が危険。夕方はバスが行先別に駐車できないため、バスを待つ人とタクシー待ちの列が長くなり、混乱している。</p> | |
| 42 | | <p>朝夕の通勤・通学時間帯のバス発着の円滑化のため、北口広場を重層化してバス、タクシーを収容することが一案と考えられる。北口駅前広場を重層化する都市計画の改定も、必要であれば行って欲しい。</p> | |

| No. | 項目 | ご意見の概要 | 区の考え方 |
|-----|-----------------------|--|--|
| 43 | | 駅南側バス通りの、塾の送迎の車は迷惑である。 | 南口の駅前広場については、地域住民の意向、用地確保の課題、交通環境などを踏まえ、中長期的に検討を進めてまいります。 |
| 44 | | 駅南側にバスターミナルを整備する。 | |
| 45 | | 南口も北口のように駅前を広くできないか。 | |
| 46 | | 荻窪駅北東の線路脇の道路は、青梅街道から駅前広場へ向かうものであり、交通戦略の重要路線であると考えますが、いかがか。 | |
| 47 | | 荻窪駅の地下に自転車置場を整備する。 | |
| 48 | 「今日もいつもの商店街プログラム」に関して | 天沼八幡通りや教会通りで自転車の危険運転をなくして欲しい。現状の交通安全運動では不十分と思われるため、指導等の回数を増やしてはどうか。 | 天沼八幡通りや教会通りなど区内の道幅の狭い道路では、歩行者と自転車、自動車が錯綜し、交通安全上の課題があると認識しています。現在も、警察や商店会、町会・自治会等と連携した街頭キャンペーンや、様々な世代に向けた自転車走行ルール・マナーの周知に取り組んでいるところです。 ご指摘のあった商店街については、阿佐谷パールセンター商店街をはじめとした他事例を参考に、警察や商店会、町会・自治会等と協力して、まちの状況に適した効果的な対策について研究し、交通安全に努めてまいります。 |
| 49 | | 教会通りで、自転車がかなりのスピードで走り抜けていくことにいつも恐怖を感じている。教会通りにおいて、阿佐谷パールセンター商店街のように自転車の押し歩きをルール化して欲しい。 | |
| 50 | | 買い物時などの短時間駐車に対応した無料の自転車駐車を増やしてほしい。 | |
| 51 | | 荻窪駅北東の線路脇の道路は、荷捌き駐車により車道の通行幅が狭くなって自転車・歩行者にとって危険であり、若い人達の商店街への来店の障害となっている | ご指摘の道路においては、荷捌きスペースの確保に関して、現場の状況に適した効果的な方策について、商店会の方々と検討してまいります。 |

| No. | 項目 | ご意見の概要 | 区の考え方 |
|-----|------------------|---|---|
| | | <p>る。この道路に面している建物は区有地に建っており、これらの建物を除去して道路幅を広くし、回遊性の向上を図って欲しい。</p> <p>(他、同趣旨1件)</p> | <p>また、建物が道路（区有地）との境界を越えて建っている場合は、建て替えの際に、境界に合わせて後退していただいているところです。</p> |
| 52 | | <p>全ての配送業者が連携した、宅配ボックスが、まちの所々にあると良い。</p> | <p>まちのにぎわいの創出や、人の流れと地域の日常生活を支える物流との調和の観点から、いただいたご意見も参考にさせていただきます。</p> |
| 53 | | <p>荻窪駅周辺が、近隣の駅（阿佐ヶ谷、高円寺）と比べて活気がないと思う。商店が減り、まちが小さくなっている。地権者も入れて、活気を取り戻すにはどうしたらよいか、話し合っって欲しい。</p> | <p>「杉並区まちづくり基本方針（杉並区都市計画マスタープラン）」（平成25年10月）では、荻窪駅周辺について、杉並区の働く、遊ぶ、憩う、集う、学ぶなど、にぎわいの芯である「都市活性化拠点」と位置づけています。</p> <p>また、本交通戦略（案）においても、まちの利便性・にぎわい・回遊性の向上に取り組むこととしています。区としても、地域の活性化に資する取組となるよう、関係権利者をはじめ、商店会や地域住民の方々などと十分協議しながら進めてまいります。</p> |
| 54 | | <p>商店が出しているのぼり旗などの規制を行い、他地域からも訪れてみたくなるような、おしゃれ感のある通りや駅にして欲しい。</p> | <p>のぼり旗を含めた、路上看板や路上陳列については、これまでも区と警察が合同で指導を行っており、今後も引き続きこの取組を実施してまいります。</p> |
| 55 | 「ホッと道路プログラム」に関して | <p>中杉通りから青梅街道までの区道（日大通り）のような、歩道が無かつ交通量の多い道路において、優先的に無電柱化を実現して欲しい。</p> <p>(他、同趣旨1件)</p> | <p>ご指摘の中杉通りから青梅街道までの区道（日大通り）は、「すぎなみの道づくり（道路整備計画）」において、主要生活道路の優先整備路線・安全対策路線に位置付けており、交通状況や事故の発生要因を分析しながら、外側線内のカラー舗装化など、まずは安全対策路線としての整備を現在実施しています。また、無電柱化については、「杉並区無電柱化推進方針」に基づき、整備効果の高い路線から無電柱化を推進し、防災性、安全性、快適性、景観の向上を図ります。</p> |
| 56 | | <p>無電柱化へのこだわりは不経済である。</p> | <p>無電柱化については、計画的かつ重点的に進めていく必要があります。区では、「杉並区無電柱化推進方針」に基づき、整備効果の高い路線から無電柱化を推進し、防災性、安全性、快適性、景観の向上を図ります。</p> |

| No. | 項目 | ご意見の概要 | 区の考え方 |
|-----|-------------------------|---|---|
| 57 | | 現在ウエルファーム杉並前にあるバス停を、現在整備中の特養棟の方へ、1m程度セットバックした形で設置し直して欲しい。 | ウエルファーム杉並の特養棟については、平成33(2021)年度の開設に向け設計を完了させ、関係機関等との協議を進めています。このため、ご要望のバス停を1m程度セットバックさせた形での再設置に対応することはできませんが、複合施設棟前と同様に、2m程度セットバックし、歩道状空地を設けます。 |
| 58 | | 荻窪四丁目の信号から南口駅前通り(補助131号線)を逆走してしまう車もいるため、駅前までのわかりやすい標識やしかけを作って欲しい。 | 運転者に対する周知を図るため、警察と協議のうえ、立て看板の設置等について検討してまいります。 |
| 59 | | 荻窪駅から、天沼小学校、天沼中学校へ向かう通学路に緑色のカラー舗装がほとんどなく、ガードレールもないため、児童が危険である。ガードレールを設置したほうが良い。また、通学路のカラー舗装化は必須なのではないか。 | 道路幅が狭いところでは、ガードレールの設置は困難です。なお、設置する際は、警察や沿道の方々との協議が必要となります。天沼小学校、天沼中学校を含め、区内学校周辺の通学路のカラー舗装化については、歩道部のみになりますが、優先順位をつけ整備する方向で準備をしているところです。 |
| 60 | | 旧若杉小東側の道路について、駐車できないようにして欲しい。 | 路上における駐車抑止、通行車両の速度抑制については、警察と連携して対策を検討してまいります。 なお、路上荷捌きについては、荷捌きスペースの確保に関して、現場の状況に適した効果的な方策について、商店会の方々などと検討してまいります。 |
| 61 | | 旧若杉小東側の道路について、車両のスピード抑制をして欲しい。 | |
| 62 | | 教会通り出入口への横断歩道を拡幅できないか。 | いただいたご意見については、所管する警察に申し送りをいたします。 |
| 63 | | 道路は、排水のため路肩側が低くなるようにできているが、シルバーカーを押して白線の内側を歩く際に、傾きすぎており、歩きにくくて困る。 | 道路には、路面排水のための傾きを設けており、アスファルト舗装の部分は傾きが小さいですが、雨水を流す側溝部分は傾きが大きくなっています。 傾きをゼロにすることは困難ですが、今後、道路の改修、修繕の際には、歩行者通行帯の拡幅を含め、極力歩きやすい道路づくりを図ってまいります。 |
| 64 | 「みんなに優しい自転車利用プログラム」に関して | 自転車は、駅前に乗り入れできない策を盛り込めないか。荻窪地下道から電車に乗れるなど、駅前で自転車を置かずにすむ策を考えて欲しい。 | 駅周辺や駅前広場における自転車通行禁止に関する他自治体の事例も参考に、警察や商店会、町会・自治会等と協力して、荻窪の状況にあった、効果的な対策について研究を進めます。 |
| 65 | | 自転車を利用する人に交通ルールを守って欲しい。道幅の狭い商店街をスピードを出して走る自転車は特に危険である。 | 区ではこれまで、小学生を対象とした自転車実技講習、中学生を対象とした交通事故再現型の自転車講習、高齢者施設での交通安全講習会、保育園等の送迎で自転車を |

| No. | 項目 | ご意見の概要 | 区の考え方 |
|-----|----------------------|--|---|
| 66 | | 信号無視をして走る自転車は、厳しく罰して欲しい。ルールを守らない自転車に何度もぶつかりそうになっている。 | <p>利用する保護者を対象とした自転車教室など、対象者に合わせた自転車に関する交通安全を警察と連携して取り組んでいるところ。</p> <p>また、「杉並区自転車ネットワーク計画」に基づき路面表示の設置を行うなど、自転車通行空間整備と連携し、ハード・ソフトの両面から交通安全対策を実施することで、自転車が関与する事故の減少を図ります。</p> <p>更に今後は、通勤・通学時間帯に合わせた暴走自転車に対する自転車の模範走行などの取組を、地元商店会や警察等と調整して行ってまいりたいと考えています。</p> |
| 67 | | 自転車の信号無視と無灯火の取締りを徹底して欲しい。 | |
| 68 | | 歩道においても、駆動補助機付自転車（電動アシスト自転車）がスピードを出し過ぎである。 | |
| 69 | | 自転車の事故を少しでも減らして欲しい。 | |
| 70 | | <p>荻窪駅周辺(特に北口青梅街道)は、溢れる人の中をスピード出して歩道を走り抜ける自転車が多く見られ、恐怖を感じる。提案として、駅周辺の街路樹を撤去し、自転車通行空間を整備してはどうか。それができない場合は、駅周辺歩道を自転車通行禁止としてほしい。</p> <p>(他、同趣旨1件)</p> | <p>区では、みどりの住宅都市を目指しており、街路樹も重要なみどりの一部と考えております。夏の暑さ・ヒートアイランド現象を緩和するなど、良好な都市環境の形成に資する街路樹の効果を感じていただけるよう、引き続き適切な維持管理に取り組んでまいります。</p> <p>また、駅周辺や駅前広場における自転車通行の禁止については、他事例も参考に、警察や商店会、町会・自治会等と協力して、荻窪の状況にあった、効果的な対策について研究を進めます。</p> <p>なお、青梅街道は東京都第三建設事務所の管理になりますので、いただいたご意見については、同事務所へも申し送りいたします。</p> |
| 71 | | 自転車ネットワークに関するすぎなみフェスタの意見は、商店会や荻窪まちづくり会議の意見等とは真逆であったように思う。意見の取り方で方向性が異なるので、来年度のワークショップでは「第2の鎌倉にならない」よう、小単会などを設定し地道に進めて欲しい。 | <p>本交通戦略に基づき実施するワークショップでは、まちの状況にあった自転車利用についても、商店会の方々と検討してまいります。</p> |
| 72 | 「頼れるターミナル駅プログラム」に関して | 頼れるターミナル駅構想は良いと思うが、南口にはスペースがない。もう少し具体的な書き込みが必要。 | <p>南口の駅前広場、または、防災機能充実のためのスペースについては、地域住民の意向、用地確保の課題、交通環境などを踏まえ、中長期的に検討を進めてまいります。</p> |
| 73 | | 南口には駅前に喫煙スペースがあるが、時代の要請に合わせ撤去すべきと思う。 | <p>荻窪南口喫煙所に関しては、路上禁煙地区に指定している荻窪駅周辺において、路上喫煙及び歩行中の喫煙を抑制するため、禁煙地区のどこかに喫煙スペースを確保する必要があると考え、現在の場所に設置し</p> |

| No. | 項目 | ご意見の概要 | 区の考え方 |
|-----|-------------------|--|---|
| | | | てまいりましたが、そのあり方などについては、今後も研究すべき課題と捉えています。 |
| 74 | | グリーン車サービス開始のため快速線ホームを延長する際は、駅長室や駅員詰め所も改善の余地がありそうである。 | いただいたご意見につきましては、区から、JR 東日本へ申し送りいたします。 |
| 75 | | ホームドアの早期設置を要望する。 | JR 東日本では、2032 年度末頃までに、東京圏在来線の主要路線全駅（整備済みの 32 駅を含む 330 駅）にホームドアを整備していくこととしています。（JR 東日本プレスリリース 2018 年 3 月 6 日付け参照） |
| 76 | 「実施工程表」に関して | JR・メトロとの三者協議の締結はいつか。調査・検討・協議のどの時点で誰でもわかるハードの絵図面がいつ提示されるか。概略設計、詳細設計、都市計画決定などのハード工事につながるマイルストーンが分かる工程を説明して欲しい。 | 今後、分科会における意見交換などにより進めていく内容となりますので、現時点ではいずれも未定です。 |
| 77 | 「評価指標、推進管理体制」に関して | 評価指標は、もう少し定量的な積み上げが必要と思う。 | 3つの評価指標は、本交通戦略の取組効果を把握し、推進管理の参考とするものと考えています。評価指標だけでは汲み取ることが困難なまちづくりへの効果については、ご指摘のように、より詳細なデータを参照しながら的確に把握し、より効果的な施策への見直しを実施してまいります。 |
| 78 | | 推進体制が協議会方式では弱いと思う。区長が責任者となり積極的に推進する仕組みが必要と思う。 | 区においても「杉並区荻窪駅周辺総合交通戦略部会」を設置しており、本部会が連絡協議会の成果を共有しつつ、区として責任を持って交通戦略の推進管理を行ってまいります。 |
| 79 | | 連絡協議会には、多数の地域住民の参加が必要と思います。 | 施策の推進にあたって、より重点的かつ専門的な意見交換を行う必要がある場合に設置する「分科会」について、施策の内容に応じて、地元組織や商業者の方々などのご協力を得ながら意見交換を行ってまいります。 |
| 80 | その他 | 交通戦略に関する議事録（基本構想審議会の会議録の同様なもの）を公表して欲しい。また、「荻窪駅周辺まちづくり方針」に関する議事録も公表して欲しい。 | 交通戦略の連絡協議会の議事要旨については、策定した本交通戦略の公表とあわせて公開する予定としています。また、「まちづくり方針」についても議事要旨の公開について検討いたします。 |
| 81 | | JR 東改札において、中央線側の両側に階段とエスカレーターが欲しい。朝のプラットフォームへ向かう際に非常に混雑し、不快である。 | いただいたご意見につきましては、区から、JR 東日本へ申し送りいたします。 |
| 82 | | JR 東改札から快速線のプラットフォームへ向かう階段を上った真正面に太い柱が混雑を助長させており、出会い頭に | |

| No. | 項目 | ご意見の概要 | 区の考え方 |
|-----|----|--|---|
| | | 衝突しそうになっている。この柱を、せめて階段前から動かさないか。 | |
| 83 | | 西口跨線橋から見える駅ホーム屋根のスレートは、黒く変色して美観もよくないので、改装をお願いしたい。 | |
| 84 | | 自宅から中央図書館が遠いため、荻窪駅から中央図書館方面へのコミュニティバスを運行して欲しい。 | コミュニティバスは、交通不便地域の解消を目的に運行を行っています。また、当該地域は、法令上コミュニティバスが通行するために必要な道路幅員の確保が出来ないことから、導入は困難な状況です。 |
| 85 | | 現在、荻窪高校前を通っているバスの路線を、大田黒公園前を通るように変更して欲しい。 | いただいたご意見については、当該バス路線を運行するバス事業者へ申し送りいたします。 |
| 86 | | 道路の修繕をして欲しい。 | 道路の補修については、概ね3年間の計画を立てて施行する大規模補修と、早期に局所的補修をする小規模補修があります。 |
| 87 | | 自宅付近の区道の舗装補修工事が、竣工まで約2年かかり、生活上において辛抱の限りであった。スピード感のある行政のあり方を要求する。 | それぞれの現場の状況に応じて要する時間や施工方法が異なるため、お手数ですが、ご要望の場所や損傷状況を杉並土木事務所へご連絡ください。職員が現地を確認させていただきます。 概ね3年間の計画に基づく大規模補修では、舗装の掘り返しを防ぐため、水道局、下水道局、ガス事業者、電気事業者などの関係企業との事前調整、現地測量、関係機関との協議などが必要であり、ご要望をいただいてから工事を着手するまで、概ね1年～3年の期間を要しているのが現状です。これまでも、定期的で開催している関係企業等との調整会議にて、工事着手までの期間短縮を図ってきましたが、今後、より一層の短縮に向けて努めてまいります。 |
| 88 | | 子供が上荻保育園に通っている。夜になると周りがとても暗い。せめて、建物の入り口だけでももう少し明るくして欲しい。 | 上荻保育園周辺の街路灯につきましては、駅周辺及び幹線道路の装飾灯等との関係で、暗く感じられることも考えられますので、今後LED化を進める中で考慮していきたいと考えています。 |
| 89 | | 北口駅前広場に1年程前よりいるホームレスへの対応も必要である。 | 路上生活者については、都区共同で運営する自立支援センターで巡回相談事業を実施し、同センターへの入所などを働きかけています。本人の拒否が強い場合も多々ありますが、引き続き対応してまいります。 |
| 90 | | 清潔で衛生的な空間にして欲しい。 | 区民の皆さんが快適で安全に暮らせるようにすることは、まちづくりの基本であると考えています。区では、今後も、清掃活動などに取り組んでいただいている地域の方々などと連携を図りながら、環境美化に取り組んでまいります。 |